



ボランティアセンター だより

問 合 せ・申込み等

「ボランティア国際年+10」

「ボランティア国際年」(2001年)から10年目にあたる2011年を国連は「ボランティア国際年+10(プラステン)」と位置づけ、再びボランティア推進を世界中に呼びかけています。

水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒311-4141 水戸市赤塚1-1(水戸市福祉ボランティア会館内)
☎ 029-309-1011・FAX 029-309-1139
(<http://www.mito-syakyo.or.jp>)

7月・8月の ボランティア体験月間に

夏休み小学生ボランティア講座(夏休み防災塾)を開催しました。我が家の防災リーダーになれるよう、防災のお話や簡単コンロ作りと非常食体験、避難所模擬体験など「私たちにできる防災」を学びました。また、点字・手話の体験、ボランティアサークルや福祉協校の活動内容のパネル展を開催し、ボランティア活動のはじめの一歩として、みなさんに理解を深めていただきました。



バケツリレーによる初期消火体験 (8/9)



地震による液状化実験 (8/9)



身近な道具での救出体験 (8/10)



点字で名刺づくり (8/9)



手話でごあいさつ (7/30・8/6・8/27)



ボランティア活動を紹介 (7/26～8/28)

あったが通信

ガールスカウト日本連盟茨城県第16団

団委員長 名雪マサ子
育成会長 川津 隆



希望を胸に入団式



交通事故撲滅運動参加



農場でのさつま芋の苗植え

ガールスカウトの創始者、イギリスのバーデンポーエル卿ははじめられて100年になり、日本では昨年90周年を迎えました。そもそもガールスカウトは将来ボーイスカウトの母となる女性を育てる大切な教育の場として今日まで続いております。少女達が自然を愛し、畏敬の念を以って(人とのまじわり)(自己開発)(自然と共に)この三本の柱をもとにプログラムが組まれております。少女や若い女性の成長を願い、月2回、土、日を利用して社会への奉仕も組み込んでおり、人に役立つ事は必ず自分の幸せにもつながってまいります。

幼い時の経験、体験が如何に自分の人生に大きく役立つか、すばらしい人生が築けるか。今回の東日本大震災では高校生、大学生が駆けつけ、疲れを見せない笑顔での報告を聞き、大変感激致しました。発団37年を迎え、充実したスカウティングを致しております。